

平成23年 8月吉日

各市町村教育委員会教育長 様
各 学 校 長 様
関 係 教 育 機 関 様

千葉県八千代市立萱田南小学校
校 長 田 中 典 夫

八千代市教育委員会「個性を生かす教育の推進」研究指定

第 2 回 算 数 科 公 開 研 究 会

共に学ぶよろこびを実感する学習をめざして

◆人との関わりを重視した算数科の学習を通して



期日 平成23年10月5日(水)



今年度で5年目の新しい学校です。開校より、算数科を研究教科に設定し、子ども一人一人が互いに伝え合ったり、支え合ったりする学びをめざして研究実践に取り組んでまいりました。

この度、第2回公開研究会を開催し、皆様のご指導・ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

校長 田中 典夫

◆日程

9:00~9:20	9:30~10:15	休憩	10:30~11:15	11:35~12:10	12:10~13:00	13:10~14:10	14:20~15:50
受 付	◆授業展開1		◆授業展開2	準備・休憩	◆全体会 研究概要説明	移動 講師 千葉大学教授 松尾七重先生	◆講演会
	全学級展開		◆協議会				授業協議 講師指導

◇ 全体会 (研究概要説明) 11:35~12:10

①校長挨拶	校長	田中 典夫
②教育長挨拶	八千代市教育委員会教育長	加賀谷 孝 先生
③来賓・講師紹介	教 頭	吉原 幸子
④研究概要説明	研究主任	中越 千秋

◇ 講師

千葉大学教育学部	教 授(全体講師)	松 尾 七 重 先生
八千代市教育委員会指導課	指導主事(低学年部会)	高 木 雅 晴 先生
千葉大学教育学部	講 師(中学年部会)	加 藤 幸 男 先生
前市川市立妙典小学校	校 長	
前帝京平成大学	講 師(高学年部会)	鍋 倉 節 子 先生

◇ 展開授業及び授業者 9:30~10:15(授業展開1) 10:30~11:15(授業展開2)

1年

1組	単元名「たしざん(2)」3/9	指導者 藤 代 美恵子	授業展開2
2組	単元名「たしざん(2)」1/9	指導者 齊 藤 麻美子	授業展開1
3組	単元名「たしざん(2)」4/9	指導者 小 林 佳代子	授業展開2

繰り上がりのあるたし算は、どのようにして計算すればよいのか。10のまとまりをつくって「10とあといくつ」という考え方に目をむけさせながら、計算の仕方を考えていきます。ブロックを動かしたり図をかいたりしながら、自分の考えを話したり相手の考えを聞いたりして、友達といっしょに学習する楽しさを実感していきます。

1組	単元名「かけ算(1)」12/17	指導者 古 川 秀 子	授業展開1
2組	単元名「かけ算(1)」14/17	指導者 中 越 千 秋	授業展開1
3組	単元名「かけ算(1)」17/17	指導者 三 橋 理 代	授業展開2

2年

「4の段の九九のひみつみつけ」では、既習の2の段を使っても九九の答えをだすことができることを発見します。「かけられる数とかける数」では、今までと違って乗数が先に出てくる問題でも、一つ分の数を考えて式を立式しそのわけを友達と伝えます。「かけ算をつかって」では、身のまわりにあるかけ算の場面を探して、自分たちの生活にもかけ算が活用されていることに気づくような学習をしていきます。

3年

1組	単元名「1けたをかけるかけ算の筆算」1/12	指導者 添 田 陽 子	授業展開1
2組	単元名「1けたをかけるかけ算の筆算」2/12	指導者 熊 谷 直 美	授業展開2
3組	単元名「何倍でしょう(計算のじゅんじょ)」3/3	指導者 井 桁 孝 之 仲 村 義 男	授業展開2
4組	単元名「何倍でしょう(計算のじゅんじょ)」1/3	指導者 高 橋 文 代	授業展開1

「1けたのかけ算の筆算」では、機械的に数进行处理するだけでなく、既習を生かして、筆算の意味を説明できるようにします。そして、すばやく計算ができたり、計算をふり返ったりすることのできる、筆算のよさに気づかせていきたいと考えています。

「何倍でしょう」では、乗法を組み合わせた2段階の問題にチャレンジします。絵や図を用いて数量関係を明らかにして、課題を解決していきます。さらに、単元最後の時間では、前時までの考え方と結びつけながら、乗法の性質(結合法則)を学び、さらに理解を深めていきます。

4年

- 1組 単元名「垂直・平行と四角形」10/13
指導者 高橋 英里子 授業展開2
- 2組 単元名「垂直・平行と四角形」6/13
指導者 黒田 大介 授業展開2
- 3組 単元名「垂直・平行と四角形」1/13
指導者 木村 英子 授業展開1

はじめに、二つの直線の位置関係を示す垂直・平行を学習し、さらに図形の構成要素である対角線を学習します。その観点から、四角形を観察し、調べたり、分類したりしていきます。児童の伝え合う活動を有効に位置づけていくことによって、四角形の性質やそれぞれの四角形の関係について理解を深めていきたいと考えています。

5年

- 1組 単元名「分数」10/15
指導者 笠原 ひとみ 授業展開2
- 2組 単元名「分数」5/15
指導者 笠原 沙織 授業展開1
- 3組 単元名「分数」9/15
指導者 飯村 友和 授業展開2

「前の学習での考え方が、今日また使えたよ。」「友達の説明で疑問が解けた。」と楽しさを実感する授業を目指しています。本日の授業においても、既習の見方・考え方を使って、異分母分数の加法、分数×整数、分数÷整数の学習を進めていきます。その中で、少人数や全体での伝え合いにより、考え方を深め、分数も小数や整数と同じように、単位をそろえることによる計算できることを学習していきます。

6年

- 1組 単元名「比例と反比例」9/17
指導者 黒飛 雅樹 授業展開1
- 2組 単元名「変わり方を調べて(1)」1/2
指導者 丹羽 由香里 授業展開1
- 3組 単元名「変わり方を調べて(1)」2/2
指導者 土橋 智子 授業展開2
- 4組 単元名「比例と反比例」12/17
指導者 久松 邦明 授業展開2

「比例と反比例」では、今まで学んだ式・表・グラフに、自分や相手の考えをどう表したり読み取ったりするかを中心に進めます。問題解決に必要な事を、少人数の話し合いを通して発見していきます。

「変わり方を調べて」では、二つの変化する数量の変わり方に目をむけて、きまりを見つける問題解決の授業を行います。「算数のたからもの」のよさを実感し、それらを活用する力を身につけさせたいと考えています。

◇ 講演会 13:10~14:10

千葉大学教育学部 教授(全体講師) 松尾七重先生

演題「新教育課程における算数教育の充実をめざして」

◇ 協議会 (部会ごとに授業後の話し合いと講師指導) 14:20~15:50

個と個が関わり合い、共に学ぶ授業を構成するには、どのように教材を生かし指導したらよいか、共に学ぶ集団の中で、一人一人の子どもをどう生かせばよいか、

ご参会の先生方とともに考えられればと思います。

◆ 資料配付

- ・研究概要、学習指導案及び、今年度の実践を収録したCDを、参加される全員の方にお配りいたします。なお、参加費は無料ですが、当日、受付で資料代として**1,000円**を集めさせていただきます。

◆ 昼食

- ・会場周辺での昼食場所が限られています。当日、食券**700円**(お茶付き)を販売いたしますので、ご希望の方は、申込書にご記入の上、当日お求めください。

◆ 会場案内 <最寄り駅>

- ・東葉高速鉄道「八千代中央駅」より徒歩5分
- ・京成電鉄「八千代台駅」東洋バスバス乗り場①番より「八千代中央駅行き」「八千代医療センター行き」を利用して「八千代中央駅」で下車徒歩5分
- ※②番乗り場でも「八千代中央駅行き」がありますが、遠回りになりますので、①番乗り場をご利用ください。



◆ 参加申込方法

- ・下記参加申込書を**平成23年9月28日(水)**までに、FAXでお送りください。また、本校ホームページにも申し込みフォームがありますので、そちらからお申し込みいただいても結構です。
- ・なお、当日受付もしておりますが、資料準備の都合上、あらかじめ上記の方法でお申し込みしていただければ幸いです。

【問い合わせ先】

学校名 千葉県八千代市立萱田南小学校 所在地 〒276-0042 千葉県八千代市ゆりのき台3-7-3
 電話 047-487-7117 FAX 047-487-7118 HP <http://www.yachiyo.ed.jp/ekayanan/>

き り と り

平成23年度 第2回 八千代市立萱田南小学校「算数科公開研究会」参加申込書

所属名(学校名または所属団体) _____ TEL () _____

所在地 〒 _____ FAX () _____

番号	職名	氏名	参加予定協議会(○で囲む)	弁当(○印)	交通機関(○印)
1			低学年・中学年・高学年	有・無	公共機関・車・その他
2			低学年・中学年・高学年	有・無	公共機関・車・その他
3			低学年・中学年・高学年	有・無	公共機関・車・その他
4			低学年・中学年・高学年	有・無	公共機関・車・その他
5			低学年・中学年・高学年	有・無	公共機関・車・その他

- ※ 駐車できる台数が少ないため、できるだけ公共交通機関をご利用くださるようお願いいたします。
- ※ 本校の公開研究会をお知りになった方法をお聞かせください。

ホームページから 学校からの案内状 各種雑誌 教育委員会から その他